

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		内科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	後期 水3・4	教室名	基礎医学
担 当 教 員		山本 光信	実務経験と その関連資格	医学博士取得後、鳥取赤十字病院、独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター など勤務			
《授業科目における学習内容》							
内科的診断と治療法、症候学、循環器、呼吸器疾患の総論、各論の講義及び演習。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験(100%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
医学書院 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学							
《授業外における学習方法》							
教科書を中心とした授業の予習・復習。							
《履修に当たっての留意点》							
国試の過去問レベルをしっかりと理解、習得する。							
授業の 方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	内科学の概念について理解する事ができる。			教科書 配布資料	事前学習 内科学の概念について 予習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマに おける 授業予定	内科学の概念、診断方法、臨床検査、治療法等について学習する。				
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	症候学について理解する事ができる。			教科書 配布資料	事前学習 診断法の予習(30分) 事後学習 授業内容のまとめ(30分)
		各コマに おける 授業予定	発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐、易感染性、意識障害、めまい、浮腫、レイノー現象、頭痛、リンパ節腫脹、ショックの症候学について学習する。				
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	循環器疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。			教科書 配布資料	事前学習 臨床検査、内科的治療 の予習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマに おける 授業予定	循環器疾患の概要やそれらの疾患について学習する。				
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	高血圧、虚血性心疾患、弁膜症、心不全について理解する事ができる。			教科書 配布資料	事前学習 症候学の予習(30分) 事後学習 授業のまとめ(30分)
		各コマに おける 授業予定	高血圧、虚血性心疾患、弁膜症、心不全について学習する。				
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	不整脈、肺性心、大動脈疾患、末梢血管疾患について理解する事ができる。			教科書 配布資料	事前学習 症候学の予習(30分) 事後学習 授業のまとめ(30分)
		各コマに おける 授業予定	不整脈、肺性心、大動脈疾患、末梢血管疾患について学習する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 症候学の予習(30分) 事後学習 授業のまとめ(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器疾患の概要やそれらの疾患について学習する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染性肺疾患、COPD、喘息、拘束性肺疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 循環器疾患の概要の予習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感染性肺疾患、COPD、喘息、拘束性肺疾患について学習する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 高血圧、虚血性心疾患、弁膜症、心不全の予習(30分) 事後学習 授業のまとめ(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器疾患の概要やそれらの疾患について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝胆膵疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 不整脈、肺性心、大動脈疾患、末梢血管疾患の予習(30分) 事後学習 授業のまとめ(30分)
		各コマにおける授業予定	肝胆膵疾患の概要やそれらの疾患について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 呼吸器疾患の概要の予習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	血液疾患の概要やそれらの疾患について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 感染性肺疾患、COPD、喘息、拘束性肺疾患の予習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	代謝疾患の概要やそれらのについて学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患の概要やそれらの疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 肺腫瘍、肺循環障害、呼吸不全の予習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内分泌疾患の概要やそれらの疾患について学ぶ。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	泌尿器疾患の概要、各泌尿器疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 これまでの授業内容の復習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	泌尿器疾患の概要、各泌尿器疾患について学ぶ。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	アレルギー、自己免疫疾患の概要、各アレルギー、自己免疫疾患について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 前回授業の復習(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	アレルギー、自己免疫疾患、各アレルギー、自己免疫疾患について学ぶ。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	肺腫瘍、肺循環障害、呼吸不全について理解する事ができる。	教科書 配布資料	事前学習 前回授業の復習(30分) 事後学習 全授業の復習・まとめ(30分)
		各コマにおける授業予定	肺腫瘍、肺循環障害、呼吸不全について学習する。		